

ペンタゴンが自らの戦争犯罪を明らかにする：

「最高機密」軍団が、シリア市民に数千ポンドの爆弾を落とした

<https://www.infowars.com/posts/pentagon-clears-top-secret-army-group-responsible-for-dropping-thousands-of-pounds-of-bombs-on-syrian-civilians/>

Kelen McBreen

May 19, 2022

⇒戦争犯罪らしいもので責任を問われる者は、誰一人いない。

ペンタゴン（米防衛総省）は、木曜日、2019年に起こった、シリアの60人の市民への爆撃の、極秘を解かれた調査について、概要を公表した。

シリアの都市デール・エズル（Deir Ezzor）への2019年3月の、米軍による空爆の内部調査が行われ、この空爆を許可した米軍司令官は、市民がこの攻撃の破壊半径の内部にいることを「知らなかった」ためだと、結論した。

究極的に米軍の判決は、この殺害について、「軍隊の戦闘行為ルールに違反するものではなかった」と言った。

2021年のNYタイムズの報告は、「アメリカのF-15E攻撃ジェット機」が、女性や子どもたちの集団の上を飛び、「この集団に500ポンドの爆弾を落とした」というだけだった。

<https://web.archive.org/web/20220518012148/https://www.nytimes.com/2021/11/13/us/us-airstrikes-civilian-deaths.html>

最初の攻撃に続いて、更に2度目の2,000ポンド爆弾が、生き残った可能性のある者を根絶するために、同じ場所に落とされた。

米軍は、この3回の爆撃は、女性と子どもたちの周辺にいた、16人の武装ISISを敗退させるために「必要だった」と主張した。

現在、軍隊がこの事件を調査した後、ペンタゴンは言っている——「そうだ、我々は、2019年、シリアのBaghuzで、何人かの罪のない市民、女性や子供たちを、殺したことを認め

ている。それは見てご覧の通り、すべてがそこにある。我々は、自分たちがそれらの過ちを犯したと認めている。我々の作戦は、これら罪のない人々を殺す結果になった、ということだ。」

この爆撃の直後に、軍内部の chat logs (会話ログ) が語っている：——カタルの Al Udeid 空軍基地の、米軍の「併合空軍作戦センター」の将兵たちが、自分たちの目撃したことを憂慮し、「我々は 50 人の女性と子どもたちに落としてしまった」と書いている。

NY タイムズの報告によると、この攻撃の背後の集団は、**最高機密の米襲撃チーム Talon Anvil** で、これは 2014 から 2019 年間に活動している。

<https://web.archive.org/web/20220518161929/https://www.nytimes.com/2021/12/12/us/civilian-deaths-war-isis.html>

この秘密のチームで働いていた者たちは、タイムズにこう語ったという：——彼らは、しばしば、「非戦闘員を保護するために課せられたルールを、うまく利用し (circumvented)、この紛争に何の役割も持っていない人々を殺すことによって、軍と CIA のパートナーたちに警報を発するものだった。殺されたのは、収穫しようとする農夫たち、通りで遊ぶ子どもたち、戦闘から逃げる家族、建物に隠れる村人たちだった。」

米軍は、この戦闘のルールに、大ざっぱ解釈しかもたない集団を利用して、「イスラミック・ステート」に対し、11 万 2,000 発の爆弾とミサイルを撃ち込んだ、と考えられる。

調査の間、自分たちは「何も悪いことをしなかった」と言った、ペンタゴンの発表に反応して、エリザベス・ウォレン上院議員 (民、マサチューセッツ) は、責任感が欠如していることを批判し、「我々は戦争の犠牲としての、市民の死や傷害を、黙認し続けることはできない」と書いた。

[訳者 Greatchain 注]

このペンタゴンの言動をどう解釈するか？ さすがに「サタンの」アメリカにも、良心の兆しが見えてきた、と取るか？ 宇宙的な善の力の大きな動きと見るべきか？ これ以上、彼らも真実を隠せなくなったと考えるか？ または、凍り付いた悪にも雪解けはある、ということか？ これはどちらでもよい。ただ、これが我々の直面する、巨大な人類的悪の、敗退の前兆であってほしいと思う。もしそうだとしたら、これは、これまでのアメリカの犯したすべての悪を、帳消しにしてもよいくらいの、うれしい出来事ではなからうか？

彼らのやり方が、どれくらい恐ろしいものであったか。それは巧妙に隠されているために、我々にもわからなかった。ここに、シリアで働いた「秘密のチーム」と言われている者たちは、人間の常識をはるかに超えた、考え得る最大の悪と偽善を、一つにしたものと考えられる。我々は、市民（非戦闘員）を保護するふりをして、平然と殺すことを理解できないが、これがアメリカの戦場で行われている、普通のやり方であり、その命令を下すトップは、最高司令官であるはずの大統領より上位にいる、「グローバリスト」だと思われる。「戦争犯罪」というものを他者（日本やドイツやロシア）に対しては認めないが、自分自身はそれを超越していると考えている、少数のエリートがいるのである。それを認識できず（あるいは意図的に真に受け）、彼らのグローバリズムが正しいと考えている政府は、我々を必ず滅ぼすことになるだろう。

そのようなペンタゴンに、わずかに亀裂が入ったというニュースは、実はどこまで信用できるかさえわからない。しかし、もう一つのブッシュ（ジュニア）の告白は、かりに怪しいとしても、何かがあるのではないかと思わせるものである：――

ジョージ・W・ブッシュが、突然、「許されない、残忍なイラク侵略」を非難

<https://www.infowars.com/posts/george-w-bush-inadvertently-condemns-unjustified-and-brutal-invasion-of-iraq/>

Paul Joseph Watson

May 19, 2022

元大統領ジョージ・W・ブッシュは、彼の行ったスピーチで、きまりの悪い一瞬を耐えなければならなかった。彼はウクライナと言うつもりだったが、その代わりに、「完全に許されない、残忍な、イラク侵略を始めた一人の男の決断」を非難した。

オートトター！

ブッシュはこの間違いを、ウクライナ大統領ゼレンスキーを、ウィンストン・チャーチルに比較するスピーチでやった。

「完全に許されない、残忍なイラク侵略を始めた、ひとりの男の決定。私はウクライナと言うつもりでした」とブッシュは言った。

フロイトの口滑り——と考えられる？

.....

【訳者】

これはどう考えたらよいのか？ 確かに疑問である。「許せない、残忍な、イラク侵略を始めた一人の男」とは、**彼自身に違いない**からである。